

平成23年雲南市議会 12月定例会一般質問通告一覧表

平成23年12月7日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	16	堀江治之 (一問一答方式)	1. 安全・安心のまちづくりについて	<p>(1)尾原ダムの洪水時放水計画について</p> <p>①尾原ダムの完成も間近となったが、洪水時の放水計画の概要と放水の伝達方法は。また中国電力斐伊川ダムの放水との関連は。</p> <p>(2)緊急地震速報について</p> <p>①9月1日より雲南市地域内への携帯電話による緊急地震速報「エリアメール」の配信が開始されたが、その概要は。 また、雲南市との関連と市内への広報は。</p> <p>②平成24年度から全国の学校に緊急地震速報設備を国において配備する方針が出されたようだが、雲南市の対応方針は。</p> <p>(3)市立雲南病院の改築計画について</p> <p>①市立雲南病院の改築が急がれるが、改築計画の現状は。また年次の計画方針と予算措置は。</p> <p>(4)木造住宅の耐震改修費補助について</p> <p>①島根県が木造住宅で1室の耐震改修でも工事費の補助を来年度以降の本格導入を検討されているが、雲南市としても取り組みの考えはないか。</p> <p>(5)公共施設の安全維持のための修繕計画について</p> <p>①橋梁の長寿命化計画の概要は。</p> <p>②島根県橋梁点検講習結果(加茂大橋の点検結果)は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				③今後の公共施設(建設物・道路・その他施設)の修繕計画と予算措置は。	
2	15	周 藤 強 (一問一答方式)	1. 市政運営について	<p>(1)橋下氏が提唱している大阪都構想は地方自治・地方分権にとって大きな問題だ。その内容・行動は、改革・変革を超える革命とも言える事象だ。この大きな流れについて基礎自治体の首長としての所見は。</p> <p>①橋下(大阪都)構想はこれまでの地方自治・地方分権のあり方を革命的に変えていくものとするが所見は。</p> <p>②橋下氏が唱えている教育改革についての所見は。</p> <p>(2)平成24年度収支均衡を最優先した財政運営がなされ目標に達しつつある反面、市民の間には昨今の世情も加わり閉塞感がいっそう漂い、地域要望が成就しないなど、「不平不満」から「あきらめの声」まで聞くようになった。今こそ「元気の出る雲南市」のための財政運営が必要ではないか。</p> <p>①市民からは「市に言っても財政が厳しいので我慢・我慢ばかり…これではいつまでたっても地域要望が成就しない」等々、「不平不満」から「あきらめの声」まで聞くようになった。この状況を地域要望の成就度(達成度)も含めてどのように捉えているか。</p> <p>②市内の中小商工業者では、世情も加わり不景気感が増すばかりで深刻な状況になっている。この状況をどのように捉えているか。</p> <p>③平成24年度収支均衡を最優先とした財政運営により平成22年決算で実質公債費比率は19.5%となった。目標とする実質公債費比率はいくらか。それはいつ達成できる見込みか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 地震対策について	<p>④こうした厳しい時こそ市民の生活満足度が上がれば 100 点満点の財政運営でなくても 80 点でもいいではないか。</p> <p>⑤仮に 80 点があるとすれば、その実質公債費比率はいくらあたりか。その場合、100 点の場合より財政出動できる金額は如何ほど増えるか。</p> <p>⑥いかなる時も市民の不平不満の解消に努力する市政運営でなければならない。今こそ、地元要望の多い道路維持修繕工事や施設修繕工事などを執行すべきと考えるがどうか。また、協働のまちづくりの視点からも市民に元気が出る財政出動をすべきと考えるが。</p> <p>(1) 3.11 以降、地震に対する関心が高まる中、雲南市でも 11.21 と 11.25 に、震度 4～3 の地震が発生した。地震に対する市民の関心が高まっている。震災対策について。</p> <p>①6 町にある震度計の場所は。設置者及び管理者は誰か。</p> <p>②テレビに流れる地震発生情報で「雲南市」はどここの震度か。また、地震発生情報の流れは。</p> <p>③地震発生時には、国、県、市ではどのような態勢がとられているのか。</p> <p>④県道掛合大東線沿いにある「木次南断層」の存在をどのように認識しているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 空き家条例について	<p>⑤急峻な谷川沿いに民家がある雲南市では、大雨と共に地震による法面崩壊等で「土砂ダム」の発生も想定される。その対策から「行き止まり道路」の解消は安全安心の基本であり、速やかにかつ積極的に進めなければならないと考えるがその対応は。</p> <p>(1)空き家の内、長年放置され危険家屋と化したものに、所有者に対し行政の指導が強力に発揮できる「空き家条例」を設置している自治体がある。その制定について。</p> <p>①市内にある空き家のうち、そうした危険家屋は何戸あるか。それに対する対策は。</p> <p>②所有者に対し行政の指導が強力に発揮できる「空き家条例」の制定に向けて検討すべきではないか。</p>	
			4. 雲南病院改築について	<p>(1) 雲南病院改築の検討状況について。</p> <p>①2次医療機関である市立病院としての将来ビジョン・プランが院内で検討されて初めて改築規模等が検討されるべきと考える。院内及び庁内での検討状況は。</p>	
3	7	安井 誉 (一括方式)	1. 雲南市の森林整備事業(林業)の展開について	<p>(1)循環型社会の構築について</p> <p>①雲南市の取組みをどう実現していくのか。何が必要と考えているか。</p> <p>②バイオマス利用の転換に向け実証実験の成果に期待するが、その経過は。</p> <p>(2)新産業の創出について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①行政としての誘導あるいは支援、その他創出について考えはないか。</p> <p>(3)地域活性化と森林資源との共生について</p> <p>①これまでの補助制度以上に補助率アップなど考えられるが、他にどのようなことが考えられるか。検討すべきことがないか。</p> <p>(4)具体的な事業推進について</p> <p>①林道、作業道整備、利用間伐、荒廃林地の植林に対し森林組合と共に大幅な補助支援を検討されてはと思うがどう考えるか。</p> <p>②林業従事者の支援制度導入については、高齢化が進み、森林荒廃化も進む中、後継者育成は喫緊の課題である。支援制度導入は中山間地の資源を守り雇用創出にもつながる。その対策を講ずる考えはあるか。</p>	
4	1 1	藤原信宏 (一問一答方式)	1. 政策実現を進める自治体運営について	<p>(1)現在の財政状況の説明が不足し、市民は必要以上の危機感を持っている。これでは政策が進まない。説明責任を果たせ。</p> <p>(2)自治体を預かる者として市長はこれまで財政健全化に向けて、どのような事業を如何に圧縮するか、どのような考え方で取り組まれたか。</p> <p>(3)今後の交付税一本算定に備えた財政運営方針を示されたい。併せて、健全財政に向けた経常収支比率・基金保有高と市債残高目標の具体的な設定値は。</p> <p>(4)財政部局は、予算編成において魅力ある政策実現にどのように関わっているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 農作業事故防止 対策の強化について	<p>(5)行政評価の導入は、予算の効率性にどのような効果を与えたか。予算編成にどの様に関わり、政策を進めるために当って予算確保に如何なる努力をしているか。</p> <p>(6)政策提案の腰が弱く重大な方針が直ぐに変更される。政策決定に重みがなく熱意が乏しいと感じるがどうか。</p> <p>(7)効果的な政策実現を図るため、職員雇用等、専門的能力を持った外部人材登用の方針は。</p> <p>(8)職員の政策提言・立案をどう求め、採用しているか。</p> <p>(9)自治体のトップとして、市長の「自治体経営」と「働く環境づくり」についての所見は。</p> <p>(1)市内における死亡事故・重傷・軽傷等の農作業事故・農業労働災害の実態をどの様に把握しているか。</p> <p>(2)農業従事者の命を守る対策をどの様に取り組む考えか。</p> <p>(3)農作業安全宣言、或いは農作業事故撲滅宣言を行って市民の意識高揚を図ってはどうか。</p> <p>(4)労災保険加入推進の取り組みは。</p>	
			3. 平和行政の推進 について	<p>(1)NGO「平和市長会議」並びに「日本非核宣言自治体協議会」に加盟済みである。市長の平和行政にかける熱意に併せ、両会議の平和事業</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>の取り組みは。</p> <p>(2)自治体連携において、もっと隣県の広島市との平和交流を深められないか。</p> <p>(3)平和行政の推進を謳う平和条例を制定する考えは。</p> <p>(4)平和行政の主たる担当部局はどこか。平和推進課或いは係を設置する考えは。</p> <p>(5)具体的な平和事業の推進について、所謂「戦争と平和」に関する取り組みが少ない。通年的な取り組みや、より平和賞を盛り上げるイベント企画の考えを問う。</p> <p>(6)顕彰基金が後 5 年で底をつく。今後の財源措置、平和賞事業継続の考えは。</p> <p>(7)永井隆記念館の充実・整備について。</p> <p>①築後 42 年を経過した本館の改築の考えは。</p> <p>②現施設の修繕整備(トイレ照明配線工事・庭の排水改良・大人向けの新書整備)の考えは。</p> <p>(8)原爆投下日時と終戦記念日の正午に、全国の寺院等の鐘を一斉に鳴らす「平和の鐘プロジェクト」の参加を願うがどうか。</p> <p>(9)永井千本桜 2 世の市内各所への植栽推進の取り組みは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
5	10	細 田 実 (一問一答方式)	1. 島根原子力発電 所の安全対策につ いて	<p>(1)安全協定締結について</p> <p>国の原子力安全委員会は原発事故に備えて防災対策を重点的に実施する地域を拡大し、新たな防災対策地域を設定した。PAZ・UPA・PPA など。雲南市は緊急防護措置地域(UPA)に含まれた。松江市のみが安全協定を結ぶ根拠は崩れた。市長は安全協定締結を強く求めているがより強力に求める根拠が強まった。</p> <p>①安全協定締結交渉の経過と現状について。経過の報告と中電側の主張等締結の障害は。</p> <p>②協定を求めると同時にそれに対応する雲南市の体制強化、人材育成が必要と思うが。</p> <p>(2)原子力防災対策について</p> <p>①県の原子力防災連絡会議(作業部会)では福島原発事故をふまえた新たな課題として、初動体制をはじめさまざまな課題が提起されている。避難措置のイメージは。</p> <p>②避難のイメージをとっても現実的に不可能ではと受け取らざるを得ないが、どのように受け止めているか。</p> <p>③課題に沿って(新たな課題にも)雲南市としても解決していかなければならないが、その作業の現状と今後のスケジュールは。</p> <p>④一番の安全対策は原発をやめることだが、現実には使用済み核燃料が島根原発にも大量に保管されており、廃炉にも 30 年はかかると言われている。安全対策、防災対策を急がなければならない。体制強化して取り組むべきだ。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 掛合酒蔵資料館 にかかわる寄付に ついて	<p>⑤防災対策重点地域の拡大によって UPZ・PPA に含まれる雲南市の住民(人口、世帯)はいくらか。また、就学前・小学生・中学生・高校生の人数は。</p> <p>⑥放射線の影響は子供や妊婦が一番受けるといわれている。37年たった古い原発、いつ事故が起こるか分からない。サイバー攻撃による制御不能も考えられる。住民全避難計画も大切だが、子供・妊婦の避難計画だけは県のスケジュールとは別に雲南市独自で早急に立てるべきではないか。</p> <p>⑦いつ事故が起こるか分からない中で、子供へ服用させるヨウ素剤について雲南市独自で早急に配備するべきではないか。</p> <p>(3)島根原子力発電所、1・2・3号機稼動について</p> <p>①県知事は原発再稼動の条件として住民避難の枠組みが必要との認識を記者会見で述べた。市長は再稼動をどのように思うか。稼動させるとしたらその条件は。</p> <p>(1)現竹下登記念館を市へ寄付を受け、酒蔵資料館と一体的に指定管理をする考えが示されている。一政治家に関する施設を公費で運営するのは極めて疑問である。</p> <p>①記念館建設の経緯、寄付の目的は。</p> <p>②寄付後の活用方法は。</p> <p>③記念管内現展示物の所有者は。今後の取り扱いは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 情報機器発達と 活用・管理につい て 4. 桂荘オープンと 利用料	<p>④寄付を受ける際の経費、管理する場合いくらの税金を使うのか。</p> <p>⑤酒蔵資料館の過去5年間の指定管理料と資料館使用料収入は。入館者の推移は。</p> <p>⑥雲南市の公の施設改革方針に照らし妥当か。</p> <p>⑦NPO法人などを設立して税金を使わず管理・顕彰する考えはなかったのか。</p> <p>(1)インターネットを介しての国、企業へのサイバー攻撃が報道されている。雲南市の防護対策は。</p> <p>(2)携帯端末機器など普及が著しい(iPad等)活用によっては住民サービスの向上につながるが、個人情報流出などの危険もある。どのような規制、対策を行い、情報管理を行うか。</p> <p>(1)入館料が値上げされ、また高齢者割引制度廃止への嘆きが大きい。他施設との均衡から料金設定は妥当として、割引制度廃止は再考すべきでは。</p>	
6	20	深 田 徳 夫 (一問一答方式)	1. 教育資金貸付制 度について	<p>(1)加茂町教育資金貸付制度から雲南市への拡大について</p> <p>①加茂町教育振興資金貸付事業をベースに寄付者の精神を損なうことのないように、継続又は拡大を提案したが、これまでの質疑答弁の経過を踏まえどう感じられたか。</p> <p>②寄付者の心を大切にこのような事業を拡大することは大変意義があ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 文化事業に対する教育委員会の姿勢等について</p> <p>3. 竹島問題に関わる中学校用教科書について</p>	<p>と思うが、如何か。</p> <p>(1)全国で最多の 39 個の銅鐸が発見されてから 15 周年を迎えた。雲南市の財産として史跡を含めどう生かされてきたのか。</p> <p>(2)県内で 6 番目という国宝に指定された銅鐸は、どれだけの価値があると認識され、その出土地としての雲南市の情報発信についてはどのような見解か。</p> <p>(3)これまで銅鐸が出土してから雲南市の情報発信に懸命に取り組まれた加茂町の 2000 年プロジェクトの活動の評価は。</p> <p>(4)火薬庫の移転跡地にミニ博物館等の建設を提案する。銅鐸出土地としての尊厳と遺跡を生かし雲南市の情報発信の拠点とするために、常時 2～3 個の本物を常設展示してこそ遺跡は生きるのではないか。</p> <p>(5)施設等の利用料が高く多くの方々が施設の利用に苦慮されている。文化振興に対する教育委員会の姿勢が薄い。文化行政にもっと力をいれてはどうか。</p> <p>(1)24 年度から採用される中学校の地理・歴史・公民教科書はどこの出版社のものが雲南市では採用されたか。</p> <p>(2)教科書の選定はどのような形で行われているのか。雲南市の教育委員も選定委員会に入っているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 一般質問、市政懇談会等の意見集約と検証。並びに予算編成について	<p>(3)教科書会社の間で編集方針が大きく異なる。地理・歴史・公民教科書は特に教育委員会でも議論するべきと思うがどうか。特に竹島問題についての意見はどうだったか。</p> <p>(4)子供たちが我が国の領土に対して、正確な認識を得るために、島根県では教員用のCDやDVDによって指導させていると聞くが、雲南市はどうか。</p> <p>(5)日本人の歴史観は、太平洋戦争を受けて「自虐史観」の方向ではなかったかと思う。戦後66年なので方向転換が必要。竹島領土問題についての今後の教育の所見は。</p> <p>(6)古事記編纂1300年の今日、歴史教科書は雲南市のふるさと教育と整合性のあることが大切と思うが。</p> <p>(1)一般質問、市政懇談会等の意見集約と検証について</p> <p>①一般質問等執行部ではどのように認識・扱いをされているのか。質問や意見、提案の多くは議員活動の中で市民から指摘された声を代弁している。執行部の受け込み方と認識は。</p> <p>②市政懇談会などの住民要望に対するマネジメントシートの作成と同時に一般質問等の検証をおこない同様なシートを公表しては。</p> <p>(2)予算編成について</p> <p>①速水市政のビジョンを堂々と示し、強いリーダーとしての政治姿勢で、2期目残り一年の予算編成に向かうべきと考えるが。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 樋門管理について	<p>②予算編成方針は、後期計画と実施計画は着実に実行する方針となっているか。</p> <p>(1)管理棟の設置を県との協議を要請した、その経過は。</p> <p>(2)雲南市においてはどのような管理方法を検討されたか。</p> <p>(3)圧力式・フロート式水位計による自動通報応答システムによる管理は有効。管理者の負担を大幅に軽減すると共に河川管理者が災害の発生を未然に防止できる。県へ設置の要請と雲南市として積極的な対応について所見は。</p>	
7	18	石川幸男 (一問一答方式)	<p>1. 環太平洋経済連携協定(TPP)について</p> <p>2. 幼保一体化について</p>	<p>(1)全国 933 の町村長でつくる全国町村会は 30 日野田首相の出席を得、全国大会を開き、「TPP への参加に反対する」ことなどを柱にした決議を全会一致で採択した。全国市長会の対応と市長の見解は。</p> <p>(2)本市産業・経済への影響について</p> <p>①TPP の最大の問題は、ゼロ関税と規制緩和・制度改正を一体で進行する点だ。基幹産業で再生に取り組む農林業、地域の産業経済への影響に対する見解は。対策はあるのか。</p> <p>②誘致企業等への影響はどう考えるか。</p> <p>これまでの定例会でも、質問がなされているが、雲南市の「幼・保一体化」の検討が進まないまま幼稚園の統廃合、保育所の飽和状態、待機児童の増加が生じている状況を踏まえ、質す。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 行財政改革(借地) について	<p>(1)現在の待機児童の現状と、12月の募集を踏まえた見通しについて。地域別に。</p> <p>(2)待機児童の対策は。保育所定員の見直しは可能か。保育士の確保は。(現場の要望は正規職員)</p> <p>(3)幼保一体化の検討状況は。</p> <p>①国では、幼保一体化を含め、「子ども・子育て新システム」の成案取りまとめを行っている。雲南市では、国の動向を踏まえながら「認定こども園」など、様々な保育制度の導入を検討するとしているが、検討状況は。様々な保育制度とは。</p> <p>②「認定こども園」は、平成18年に設置法が成立、同10月から制度がスタート、全国では多く開園している。島根県の取り組み状況は。条例は。</p> <p>③「認定こども園」は問題点も指摘されているが、検証は。雲南市に導入の検討対象になるのか。</p> <p>(1)借地の施設数は。賃借料総額は。</p> <p>(2)借地目的を達して、利用見込のない返却可能な借地の状況は。あれば、対策見通しは。</p> <p>(3)半恒久的な施設の借地の状況はどうか。あれば、買上げできない理由は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(4)借地の借上げ単価に基準はあるのか。単価の根拠の統一・透明性が必要では。	
8	4	高橋雅彦 (一問一答)	1. 産業振興について	<p>(1)雲南市の経済情勢について</p> <p>①商工業の状況は、デフレの進行や公共事業の削減、円高等により市内商工業に相当影響が出ていると想定されるが、近況の市内状況はどうか。また、一番影響を受けている原因は何か。</p> <p>②農業関係の状況は、狂牛病、鳥インフルエンザ、口蹄疫さらに原発事故と特に畜産は影響が大きい。また、本年一年間の気候の不安定さは農作物の価格にも影響を受けている。米の価格については一部好影響を受けているが、全体的には厳しい状況と判断される。現況の状況はどうか。</p> <p>また、FTA、EPAさらにTPPは農業者にとって心理的影響が大きいと考えるが、市として現時点でどのように把握をされているのか。</p> <p>(2)雲南市としての経済振興政策は</p> <p>①公共事業が減少した中で、建設業関係における新しい産業の創出と、事業転換支援のその後の進捗状況は。</p> <p>②人口減少による管内での消費低下、さらに、デフレ状況下の低価格指向により松江・出雲など市外への消費者流出に対する対策について、商工会などと具体的に意見交換がなされているのか。また、あれば何を求められているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>③高齢化が進む中で、新たな農業振興策を進める必要がある。そのための人材養成を積極的に進められているが、その後を追う市内の若者を育てていく対策は考えられているか。</p> <p>④畜産事業は米に次ぐ雲南の大きな柱であり、今こそ持続可能な畜産事業を再構築しなければならないと考える。その対策について、雲南農業振興協議会でどのような対策を検討されているか。(どのような形態で振興されるのか。)</p> <p>⑤古事記編纂1300年と観光事業についての構想が練られている。これに市民や事業者も雲南市売り込みに貢献できる戦略があるか。また、交流人口をどの程度伸ばす計画か。</p> <p>⑥コミュニティービジネスの振興は、しっかりしたサポート体制と資本投資に掛かっており、こうした将来にむけた取り組み構想があるか また、雲南市を支える人々が市外に大変多くいる。こうした外部の人材を活用した産業振興が必要と考えるが、雲南市の活性化を目指す人々の受け入れ体制が不十分ではないか。</p> <p>(3)平成24年度の産業振興重点策は 雲南市には世界的企業のホシザキや三洋電機がある中で、近年大きな雇用を創出する産業が芽生えていない。 資源の宝庫、雲南市の23年度の産業振興をもとに、24年度のアップしたステージを実現するための産業振興の構想は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
10	6	土江良治 (一問一答方式)	<p>1. 鉄の町、門前町・吉田町のメインストリート崩壊家屋について</p> <p>2. 「雲南市 B 級グルメ選手権(仮称)」について</p>	<p>(1)いつ崩壊したのか。基本的には個人の財産。所有者へ事後措置方の折衝は誰が当たっているのか。</p> <p>(2)今なおあの状態であるのは事態打開が進んでいないとみる。住民や観光客の安全確保や町並み景観維持上、なぜ傍観しているのか。</p> <p>(3)当面の応急処置は。</p> <p>(4)今後市内の街中でこの様な例が加速度的に増えることが予想される。その対処法は。</p> <p>(5)廃屋対策の条例を制定し、解体撤去の代執行することは考えられないか。</p> <p>(1)「雲南市は食の宝庫」という考えは賛同するが、合併7年目まだパットしない。最近ご当地グルメの祭典が人気だが、感想は。</p> <p>(2)今市では食品製造業・農商工連携協議会のスイーツ・スパイスプロジェクトで新商品の開発が順調に進むと聞く。あらためて、どのような商品が開発され販路拡大がどのように展開され、その効果は。</p> <p>(3)古事記 1300 年、これまで開発された商品の大々的な披露もあわせ、「雲南市 B 級グルメ選手権(仮称)」を開催し、全国発信の足がかりに思う。こういった一つのこだわりのある食のイベントを市独自で開催されては。</p> <p>(4)イベント開催について主催はどこかという問題がある。奥出雲の「米</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 第2期農地・水・ 環境保全対策事業 について	<p>「1」の実行委員会は「やらこい奥出雲」の任意団体が中心となり、あのような大イベントを成功させた。食のイベントを開催するとなるとどういった運営方法が最適と考えるか。</p> <p>(1)第2期目のこの事業、聞くところによると、継続地区(5ヵ年間)は基準単価8割とのこと。そして単価カットに加え、繰越が出来なくなった。繰越することによって単年度で出来ない事業展開を行ってきた。このことによって、参加組合が減ることはないのか。事務の煩雑さ解消に加え、単価アップ、もしくは現状維持等について、いままでどのように国及び県土連に働きかけされたか。</p> <p>(2)年末迄に来年度予算が決定されると思うがこれらについてはもう確認済みか。</p>	
11	17	光 谷 由 紀 子 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢 について	<p>(1)TPP 参加の撤回を強く求めよ</p> <p>①TPP 参加は農林漁業を土台から壊し、医療、食の安全、雇用、公共事業の発注のルールを壊し、暮らし・地域経済に甚大な被害を与える。国に対し参加の撤退を求めよ。</p> <p>(2)島根原発の撤退を求めよ</p> <p>①現在、原子力防災連絡会議が設置され、避難計画の見通し等が行われている。市としても地域防災計画の見通しが行われるが、そもそも原発の存在があることが問題である。市民の安心安全を願うなら原発の撤退を求めよ。</p> <p>(3)来年度予算編成にあたっての基本的考えを問う。</p> <p>①予算編成にあたって、何を優先施策と考えているか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 行政維識の見直しについて</p> <p>3. 教育問題について</p>	<p>②緊急な課題は。介護・医療・教育であるが、実態は。</p> <p>(4)「竹下登記念館」の寄付辞退を求める。</p> <p>① 公平・公正な市政を求める。</p> <p>② 旧掛合町の有志の方々が取組みされた「記念館」である。旧町も関与されてこなかったものである。実行委員会で管理運営されることが最良である。寄付の辞退を求める。</p> <p>(1)総合センターの機能充実を求める。</p> <p>①本庁に何事も集中すると、火災・地震が多発する中で住民は不安であり、安心安全が守れない。サービスの向上とするならば現地解決型に総合センターはすべきでは。</p> <p>(2)今後、交流センターに行政機能を置き、新たなサービスを考えると検討委員会で考えが示されているが、どういう内容か。</p> <p>①交流センターはあくまでも住民自治の拠点ではないのか。</p> <p>②行政の下請機関とするならば、行政責任の放棄と考えるが。</p> <p>(1)教職員の時間外の状況把握について</p> <p>①県教委からの調査に基づいて、市教委も調査されたが、その結果の状況は。</p> <p>②来年度から中学校で新学習指導要領が完全実施となる。多忙に拍車がかかると不安の声が出ている。どう対応するか。</p> <p>③武道が体育の授業の必須となる。中でも柔道は障害事故、死亡事故</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市営住宅政策について	<p>が抜きん出て多く発生している。指導等への不安の声が保護者から出ている。どう対応するか。</p> <p>(1)公営住宅の役割と家賃の減免、及び徴収猶予について</p> <p>①公営住宅の役割は。</p> <p>②入居不可能な戸数が増えている。修繕、建替えは。</p> <p>③家賃の減免及び徴収猶予の規定があるが、その周知は。</p> <p>④県は県営住宅家賃の減免率 50%を今年度 4 月より実施された。市としても減免率をあげるべきでは。</p> <p>⑤実施することにより、入居不可能な住宅の改修、改築につながると考えるがどうか。</p>	
1 2	1 2	山 崎 正 幸 (一問一答方式)	1. 公共交通について	<p>(1)市民バス運行の現状の課題と対策について</p> <p>①市民バス及び掛合だんだんタクシーの利用者は年々減少傾向にあり、反面トータルコストは増加傾向にあるが、その要因は。</p> <p>②人口減少や少子高齢化により年々利用者が減少し、1 日当たりの利用者が 1.0 未満の運行便がある。利用促進を促しても改善が見られない便は減便する方針か。また、昨年度何便が該当したか。</p> <p>③高齢者でバスを降りる際に、バスによってはステップが高く転ぶ危険性があるので、後ろ向きで降りると伺っているが、車両を改造する考えは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 農畜産業の振興 について	<p>④市民バスの利用者は人口減少及び少子高齢化が進行し、利用者の増加は見込まれないのが現状である。特に交通弱者に対し、将来ビジョンを描き、抜本的な見直しが必要と考えるが、検討状況は。</p> <p>(1)平成 24 年産米の生産調整について</p> <p>①雲南市の平成 23 年産米の生産調整は集落営農業組織及び担い手の理解と協力により、ほぼ達成したと認識しているが、達成状況と所見は。</p> <p>②農水省は、過去の生産調整達成や県間調整・政府米売り渡し実績に配慮し、平成 24 年産米の生産目標配分を決定した。島根県は、面積換算にして 60ha 減の 18,930ha の配分が計画されているが、雲南市の配分面積は。</p> <p>③平成 24 年産米の生産調整に対する雲南市の考えと方針は。</p> <p>④生産農家等への生産調整に関する説明会のスケジュールは。</p> <p>(2)稲わらの確保対策について</p> <p>①稲わらの確保は県内産もしくは中国産に切り替える方針と伺ったが、「雲南市食と農の市民条例」第 9 条の地産地消及び自給体制の推進を図る観点から、安心安全な地元産稲わらを活用する考えは。</p> <p>(3)放射性セシウムを含む滞留堆肥について</p> <p>①一時保管の堆肥は、焼却・埋却による最終処分が可能になれば処分を行う方針であるが、最終処分が可能といつ誰が判断するのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②すでに製造された堆肥のうち、放射性セシウム値が「不検出」である堆肥であっても農家等への販売は行われぬ。ただし、県有施設及び希望農家での利用また市町内の耕作放棄地等への利用は行うと方針が出されたが、絶対利用すべきではないと思うがどうか。</p> <p>③今後新たに製造される堆肥の内、放射性セシウム値が「不検出」である堆肥は農家等への販売を再開する方針であるが、誰が検査を行い安全と判断し、何時ごろから再開するのか。</p> <p>④東京電力は2日、島根県内のJAでつくる協議会に風評害による島根県産の牛肉価格が下落したとして、損害賠償額の9割に当たる1億9,700万円が生産者に支払われたが、堆肥の一時保管に関する損害賠償について伺う。</p> <p>(4)和牛振興策について</p> <p>①阪神地区、北摂地区、京都市の24店舗で高級食材販売を展開されている、いかりスーパーへ出向き顧客との対面販売体験や事業者と課題等について意見交換を交わされたと伺っているが、所見は。</p> <p>②JA雲南における1次産業の販売額は、米が1位で続いて和牛子牛・肉用牛が2位で、3位が産直事業である。肉用牛の出荷頭数750頭のうち、いかりスーパーは約500頭購入されているが、JA肥育センター縮小により、販売頭数が確保できないと考えるが対策は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				③奥出雲和牛振興対策の最重要課題は、子牛生産農家数及び飼育頭数の維持・拡大と奥出雲和牛のブランド力の向上と販路拡大ではないかと考える。JA 雲南は6肥育センターを2肥育センターに、また、肥育頭数も1300頭を500頭に段階的に規模の縮小が計画されているが、1市2町及びJA 雲南で構成される雲南農業振興協議会の方針は。	
13	1	佐藤隆司 (一問一答)	1. 尾道・松江自動車道CBについて 2. 経済対策について	(1) 吉田地域活性化施設について ①施設整備についてあまり示されていないがその目的及び概要は。 ②施設整備後の事業展開は。 ③広島県庄原市高野町の同類施設との差別化を図るのか。 ④IC及びBS・CB名称に『雲南』の名称が必要では。 (1) 新年度に向けての雲南市ならではの経済効果のある施策について ①雲南市内の経済動向をどう評価されているのか。 ②昨年6月定例会で建築工事はすそ野の広い波及効果が期待できることから、その需要喚起の実現に向けては市長答弁で「いましばらく時間をかけて検討したい」とのことであったがどう検討されたのか。 ③雲南市木材利用促進事業並びに住宅建築物耐震改修事業補助金の申込み状況と今現在のその評価と新年度への検証。 ④住宅リフォーム事業の2ヵ年の実績から来年度に向け地域内乗数効	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>果や相乗効果を狙った新たな対策が必要では。</p> <p>⑤市内商工業のポイントカードの推進策が必要では。</p> <p>⑥住宅用太陽光発電導入促進事業補助金の補助率アップが必要では。</p>	
14	5	西村雄一郎 (一問一答)	<p>1. O26感染症について</p> <p>2. 木質バイオマスの利用のビジョンについて</p>	<p>(1)発症の月日と O26 感染判明の月日について</p> <p>①4月24日発症例の発症日、受診日、検査結果日はどうか(県5月5日発表)</p> <p>②4月27日発症例の場合はどうか。(県5月6日発表)</p> <p>③4月29日発症例の場合はどうか。(県5月3日発表)</p> <p>(2)上記質問の受診機関の場所について</p> <p>①上記①、②、③の受診機関の場所はそれぞれどこか。</p> <p>②その所見はどうか。</p> <p>③雲南市としての対策はないのか。</p> <p>(3)集団感染と判明後の市民への周知・指導について どのような内容で、どのように行ったのか。</p> <p>(1)木質バイオマス導入への思いはどうか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)市民参加型収集システム実施のプランについて</p> <p>①誰が集材するのか。</p> <p>②どこから集材するのか。</p> <p>③集材はどのような部材（形態）か。</p> <p>④どう運ぶのか。</p> <p>⑤どこへ運ぶのか。</p> <p>⑥その対価はどうか。</p> <p>⑦地域マネーの導入検討は。</p> <p>(3)チップ利用の普及について</p> <p>①その方策は。</p>	
15	8	福島光浩 (一問一答)	1. ひとつづくりについて	<p>(1)教育フェスティバル2011について</p> <p>①フェスティバルの評価、20年間でみえた課題について、また、今後への期待について伺う。</p> <p>②事業の位置付けを明確にし、今後も発展的に開催していくべきだと考えるが、来年度の事業計画、また、予算要求の状況について伺う。</p> <p>③教育をベースとして、市内で行われている各種研修をまとめて開催する一週間としながら、日本中から各界で活躍する方をお招きし、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. まちづくり行政 経営について	<p>まちづくりのための人財育成イベントとして開催し、秋の雲南ブランド化事業の目玉にしてはどうか。</p> <p>④塾議では子ども達に求める「力」が議論されたが、国際的な感覚の醸成の重要性が取り上げられた。現在、行っている取り組み、また事業として何があるのか。またそれらをどう充実させ、どの様にして子ども達の「力」を伸ばしていくのか伺う。</p> <p>⑤社会的、地理的な条件により学びの環境に格差が生じている。機会の均等を図るために、子どもの社会教育活動への参加における公共交通利用に関して何らかの対策をとるべき。その認識はあるのか、また検討はされているのか伺う。</p> <p>(1) 行財政改革の現状について</p> <p>①これまでの実施実績についての内部評価と、課題について伺う。</p> <p>②公の施設の管理の見直しについて、施設管理台帳の整備は完了しているのか。また、今年度中に種別毎に具体的な見直しの方向性を決定するとなっているが現状を伺う。</p> <p>③施設などへの長期の投資、維持管理経費の調査、新設や統廃合を含めた公の施設の最適化について、方針・計画を立てる必要性を認識しているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>④多くの自治体で採用され始めている公共ファシリティマネジメントを導入し、市民に分かりやすい形で実効性のある戦略的な計画を打ち出さなければ、真に必要な公共サービスを充実できない。導入をはかるべきだが所見を伺う。</p> <p>⑤事務事業評価に取り組んで4年が経過したが、行政の関与基準の見直しが進んでいない。民間委託の推進は今後の持続可能な自治体経営に欠かせない。これまでの検討経過、今後の具体的な方針について伺う。</p> <p>⑥我孫子市の行っている提案型公共サービス民営化制度は非常に興味深い制度である。サービスの向上はもちろん、新たな公を育てる、新たな雇用を生み出す、市民の手に仕事を返す観点からも導入を前向きに検討すべきと考えるが所見を伺う。</p>	
16	2	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 速水市政の正念場である当面する重要課題にどう対応、判断していくのか	<p>(1)本庁舎建設について</p> <p>①道路用地のため、敷地が一段と狭くなるという新たな問題も出てきた。駐車場の分散や緑地が十分にとれないなど、ゆとりのない場所が市の顔でもある本庁舎の建設地として本当に相応しいのか。</p> <p>②3.11 と原発事故や頻発する豪雨（「豪雨の時代」到来）から我々は危機管理とリスク回避がいかに大切であるか学んだはずである。この場所に建てることは、これらの認識が甘すぎるのではないか。</p> <p>(2)総合センターのあり方について</p> <p>①定員管理計画では専門職（保育士、保健師など）がどうなるか不明だ。具体とそのありようを示すべきだ。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 新年度の予算編 成方針について	<p>②道路などの公共物の維持管理、健康・福祉の相談業務など、身近で迅速にきめ細かく現場対応してもらえることを、市民は総合センターの役割として求めている。一部修正されたが、市民に直に接する最前線の行政サービスのあり方としてこれで本当にいいのか。</p> <p>(3)医療と保健の融合による健康づくり拠点整備について</p> <p>①市政懇談会等では「必要ない」の意見が大半であり、健康づくり・健康増進施策における市民の市政への反応を率直に反映したものだ。最近意気込みがトーンダウンしているが、今後この事業をどう具体的（市民の理解を得る方策や事業スケジュールなど）に展開していくのか。</p> <p>(4)市立病院の改築と経営健全化について</p> <p>①建設の場所、時期、規模、事業費、財源のおおまかな見通しはどうか。</p> <p>②現行のステップアッププランの成果は達成途上にあることから、市の行財政改革に沿った改革プランの改訂、延長を早急に出すべきだがどうなっているか。</p> <p>①借金返済（特に繰上償還）と必要なまちづくり（普通建設事業など）とのバランスをどうとるのか。</p> <p>②これからの時代は新しいものより、既存のものを維持補修していくことに軸足を置くべきで、市民感覚も大方そうである。維持管理（建替を含む）に対する基本的な考えはどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 速水市政7年の 振り返りとこれか らのまちづくりに ついて	<p>③木次町民体育館は現庁舎よりも古く老朽化が著しい。建替の計画すらあがっていないのはおかしいかどうか。</p> <p>①7年を振り返って、何が達成でき、途上であり、不足であると概括しているか。</p> <p>②施策のけん引役である「雲南ブランド化プロジェクト」は抽象的で具体が見えにくく、市民からは不評で理解されていない。一方、総合特区に申請している「たたらの里山再生」は環境・エネルギー、食糧、地域コミュニティなど、世界的・国内的課題に地域として取り組んでいける具体的内容があり分かりやすい。雲南ブランド化プロジェクトにかわる柱、位置づけにすべきではないか。</p> <p>③いろいろな市政のスローガンはあるが、つまるところ市長がどういうまちにしていけるのか、残念ながら市民は捉えかねている。「第一に〇〇、第二に〇〇、…なまちにします」という具体的な将来の夢を語り、それを市民がイメージでき、共感できるようなまちづくりをもっと示すべきではないか。</p>	